

銀河連邦フォーラム 2025 も同時開催

7月7日、8日の日程で開催された「銀河連邦フォーラム 2025」では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の施設がある7つの市町（北海道大樹町、岩手県大船渡市、秋田県能代市、宮城県角田市、長野県佐久市、神奈川県相模原市、鹿児島県肝付町）が一堂に会し、それぞれの宇宙関連の施策や取組について意見交換を行いました。

その他にも銀河連邦では友好を深めるため、子ども留学交流、スポーツ交流、経済交流などの活動をしています。

講話・情報交流会



銀河連邦友好都市



ロケット見学場でイベントと物産展を実施

7月8日、IHIスペースポート内之浦（宮原見学場）において「銀河連邦お国自慢＆お楽しみ抽選会」が行われました。各共和国の代表がロケット打ち上げを待つ来場者に向けて共和国の魅力をPRしました。お楽しみ抽選会では、各地の特産品がプレゼントされるなど来場者の皆様に喜んでいただきました。

特産品販売



「ロケット関連イベントで賑わうまちのようす」

6月13日は「はやぶさの日」にちなんで、内之浦小学校で毎年恒例となっている講話が行われました。今回はJAXA内之浦宇宙空間観測所所長の羽生宏人先生とJAXA羽生研究室所属の高岡泰成先生をお招きし、5・6年生を対象に実施されました。

講師の高岡先生からは、植物から作るロケット燃料に関する最新研究について、わかりやすくお話いただきました。

また、羽生宏人先生は、今回の「はやぶさの日」講話と観測ロケットの打上げを通して「我々（JAXA）としてもふれあいの時間を増やしたいと考えています。少しでも科学技術に興味を持ってほしいです。」とコメントされました。



講話される
高岡泰成先生

「打ち上げ当日の見学場のようす」

打ち上げが一度延期になったことにより、7月8日と15日の2日間、IHIスペースポート内之浦（宮原見学場）には、県内外から多くの来場者が詰めかけました。

両日ともに晴天で強い日差しの中、会場では、販売所に冷たい飲み物や宇宙に関連する限定グッズを買い求める人々で賑わいました。

打ち上げの瞬間は、多くの人がグングン上昇するロケットにカメラを構えながら見守っていました。



限定グッズの販売（8日）



打ち上げの瞬間（15日）



「観測ロケットS-310-46号機」打ち上げ成功

「スポラディックE層の形成過程の解明へ前進」

「夏に出現しやすい
スポラディックE層とは」

7月15日、JAXA内之浦宇宙空間観測所から観測ロケットS-310-46号機が打ち上げられました。今回のミッションは、スポラディックE層と呼ばれる、高度100キロ付近に突如として現れるプラズマ状の「金属イオンの雲」の形成過程を解明することです。普通の「水の雲」は目に見えますが、「金属イオンの雲」は目に見えません。そのため、対象物を観測するには、電波を反射する特性を利用して、地上からレーダーで観測します。

当初予定していた、7月8日は打ち上げに必要な気象条件が揃っていませんでしたが、肝心の「金属イオンの雲」が出現しなかったため15日に延期となりました。

全長8メートルの観測ロケットS-310-46号機には、7つの観測機器が搭載され、7月15日12時丁度に打ち上げられました。ロケットは442秒間正常に飛行し、スポラディックE層が出現する高度約110キロメートルまで上昇した後、内之浦南東の海上に落下しました。JAXAは今後、搭載した観測機器が取得したデータを検証していくとのことです。